

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 牧野フライス製作所

コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 牧野 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 細島 英一

TEL 046-284-1844

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,896	△53.2	△3,814	—	△3,822	—	△3,672	—
21年3月期第1四半期	23,288	—	△52	—	519	—	△138	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△32.04	—
21年3月期第1四半期	△1.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	153,163	86,274	55.5	740.95
21年3月期	159,145	88,704	55.0	762.90

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 84,937百万円 21年3月期 87,455百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	0.00	7.50
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	22,000	△62.9	△8,500	—	△9,000	—	△9,000	—	△78.51
通期	51,500	△48.7	△14,000	—	△14,500	—	△14,500	—	△126.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	119,944,543株	21年3月期	119,944,543株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	5,311,552株	21年3月期	5,309,334株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	114,634,045株	21年3月期第1四半期	116,908,983株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経済は、景気刺激策を基に回復傾向にある中国を除き、日本国内をはじめ世界各国では依然として厳しい状況です。

工作機械業界の市場においても、まったく同じ状況の中で低迷を続けています。(社)日本工作機械工業会の統計による2009年4-6月期の工作機械業界の受注累計額は、前年同期比77.5%減の877億16百万円となり2009年1-3月期から微増ではありましたが、当社グループも同様に、前年同期比74.7%減の88億14百万円となり、前年度第4四半期比23.0%の微増となりました。

このように世界的に工作機械受注の回復が遅れている中で、幅広い産業で、新たな領域へ挑戦し仕事を拡大する動きが現れています。

例えば、特殊レンズに代表される光学機器、LEDやコネクタなどの電子電機関連で、より微細精密で、かつ実生産に即した工作機械が求められています。そのため、微細精密加工機「iq300」を開発しました。本機は新開発の超高精度主軸を採用し、リニアモータと新機軸の精密ころがり案内の採用による軸駆動により、極めて微細なプログラム指令が連続する加工をハイスピードで行うことが出来ます。また、超精密プレス加工は微細精密部品の量産方法として最適な手法ですが、そのための金型は1ミクロンの誤差しか許されません。そのため、超高精度加工を目的とした油加工仕様ワイヤ放電加工機「UPV-3、UPV-5」の2機種を発表します。

このような新機能開発はもとより、デザイン性の高い製品の開発が課題となっています。デザイナーがコンピュータグラフィックスや画像をベースに作成したデザインを、金型メーカーが忠実に金型で再現することで、よりデザイン性の高い製品を生み出すことができます。そのため、デザイナーの作品からCADを介さずにダイレクトで加工プログラムを作成するポリゴンモデル用CAMシステム「STLCAM」を発売し、各方面から大きな注目を集めています。

一方、航空機分野での新素材開発の進行、より高い精度要求への対応に万全を期しています。これらに対応すべく2009年6月に中型チタン合金部品の加工用に「MAG/T2」を発表し、既に発売済みの「MAG/T4」とあわせてシリーズ化いたしました。

このような状況のもとで、当第1四半期において、連結売上高108億96百万円(前年同期比:53.2%減)、連結営業損失38億14百万円(前年同期は連結営業損失52百万円)、連結経常損失38億22百万円(前年同期は連結経常利益5億19百万円)、連結四半期純損失36億72百万円(前年同期は連結四半期純損失1億38百万円)となりました。

地域別の状況は以下のとおりです。

日本市場においては、前年度第4四半期から引合いは増えたものの、様子見の状況が続き、受注に変化は見られませんでした。

アジア市場においては、総じて厳しい状況が続いていますが、中国は自動車関連及び家電関連をはじめとする国内市場向けメーカーには動きがありました。

ヨーロッパ市場においては、ほとんどの業種で前年度後半と同様に極めて低い水準の受注となりました。

上記地域では前年度第4四半期から今第1四半期に回復の兆しが見られる地域があったのに反して、アメリカ市場においては、消費の低迷に加え自動車メーカーの再建計画の影響を受けて受注が急激に悪化しました。

各地域別の業績については、5.【四半期連結財務諸表】(5)セグメント情報の項目をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ59億81百万円減少し、1,531億63百万円となりました。この主な要因は、売上債権の減少および棚卸資産の減少などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ35億51百万円減少し、668億89百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少によるものです。

純資産は、利益剰余金の減少36億82百万円などにより、前連結会計年度末に比べ24億30百万円減少し、862億74百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少89億98百万円、棚卸資産の減少27億5百万円に対して、税金等調整前四半期純損失38億22百万円および仕入債務の減少68億56百万円などの結果、41億36百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、92百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が増加17億1百万円などにより14億88百万円の収入となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ56億45百万円増加し、456億23百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,952	39,235
受取手形及び売掛金	15,681	24,529
有価証券	2,063	2,160
商品及び製品	9,492	11,100
仕掛品	8,741	9,136
原材料及び貯蔵品	13,535	14,128
繰延税金資産	693	828
その他	2,578	3,414
貸倒引当金	△1,147	△1,079
流動資産合計	96,591	103,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,251	22,462
機械装置及び運搬具(純額)	3,404	3,572
工具、器具及び備品(純額)	2,189	2,558
土地	9,653	9,628
リース資産(純額)	1,721	1,563
建設仮勘定	290	228
有形固定資産合計	39,509	40,014
無形固定資産		
のれん	68	78
その他	862	859
無形固定資産合計	931	937
投資その他の資産		
投資有価証券	8,612	7,261
長期貸付金	473	493
繰延税金資産	1,452	1,231
その他	5,853	6,018
貸倒引当金	△260	△266
投資その他の資産合計	16,131	14,738
固定資産合計	56,572	55,691
資産合計	153,163	159,145

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,309	11,063
短期借入金	6,412	4,752
1年内返済予定の長期借入金	4,701	611
リース債務	298	247
未払法人税等	635	603
その他	7,857	6,865
流動負債合計	24,214	24,143
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,072	19,314
リース債務	2,013	1,905
繰延税金負債	3,181	2,699
退職給付引当金	650	642
役員退職慰労引当金	267	1,309
その他	1,489	424
固定負債合計	42,674	46,297
負債合計	66,889	70,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	38,773	42,455
自己株式	△2,765	△2,764
株主資本合計	87,866	91,550
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,578	1,692
為替換算調整勘定	△5,507	△5,786
評価・換算差額等合計	△2,928	△4,094
少数株主持分	1,337	1,249
純資産合計	86,274	88,704
負債純資産合計	153,163	159,145

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	23,288	10,896
売上原価	16,379	10,342
売上総利益	6,909	554
販売費及び一般管理費	6,962	4,368
営業損失(△)	△52	△3,814
営業外収益		
受取利息及び配当金	155	96
為替差益	622	—
その他	157	252
営業外収益合計	935	349
営業外費用		
支払利息	100	205
為替差損	—	123
その他	262	29
営業外費用合計	363	358
経常利益又は経常損失(△)	519	△3,822
特別損失		
固定資産除却損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514	△3,822
法人税等合計	583	△145
少数株主利益又は少数株主損失(△)	69	△4
四半期純損失(△)	△138	△3,672

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514	△3,822
減価償却費	862	823
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	55
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△262	△1,042
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	25
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△70	—
受取利息及び受取配当金	△155	△96
支払利息	100	205
為替差損益(△は益)	9	28
有形固定資産除却損	4	—
有価証券売却損益(△は益)	5	—
売上債権の増減額(△は増加)	14,411	8,998
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,714	2,705
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,655	△6,856
その他	1,536	3,193
小計	4,599	4,226
利息及び配当金の受取額	153	93
利息の支払額	△72	△122
法人税等の支払額	△1,869	△60
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,811	4,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△400	△73
有価証券の取得による支出	△100	△50
有価証券の売却による収入	—	150
有形固定資産の取得による支出	△2,484	△383
有形固定資産の売却による収入	16	387
その他	△60	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,028	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△388	1,701
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△57
長期借入金の返済による支出	△1,297	△152
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△876	—
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,568	1,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	477	112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,309	5,645
現金及び現金同等物の期首残高	25,621	39,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,312	45,623

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	9,225	3,849	5,945	4,269	23,288	—	23,288
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,012	1,213	133	10	15,370	(15,370)	—
計	23,237	5,063	6,078	4,280	38,658	(15,370)	23,288
営業費用	23,479	5,510	5,945	4,001	38,936	(15,595)	23,341
営業利益 又は営業損失(△)	△242	△447	133	278	△278	225	△52

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… シンガポール
 アメリカ …… アメリカ
 ヨーロッパ …… ドイツ

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	3,632	3,056	3,230	977	10,896	—	10,896
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,653	124	110	8	2,896	(2,896)	—
計	6,285	3,180	3,341	986	13,793	(2,896)	10,896
営業費用	9,406	3,571	3,541	1,345	17,864	(3,154)	14,710
営業利益 又は営業損失(△)	△3,120	△391	△200	△359	△4,071	257	△3,814

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア …… シンガポール
 アメリカ …… アメリカ
 ヨーロッパ …… ドイツ

3. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,077	4,987	4,937	470	16,473
II 連結売上高(百万円)					23,288
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.1	21.4	21.2	2.0	70.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ・・・アメリカ・カナダ・メキシコ

ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア・イギリス

アジア・・・中国・インド・韓国・シンガポール

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,388	1,030	3,618	34	8,071
II 連結売上高(百万円)					10,896
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.1	9.5	33.2	0.3	74.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ・・・アメリカ・カナダ

ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア

アジア・・・中国・韓国・インド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」受注及び販売の状況

当社グループは工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。以下は機種別の状況を記載しております。

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

区分	前第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	24,544	70.4	4,036	45.8
放電加工機	2,746	7.9	806	9.2
フライス盤	343	1.0	63	0.7
その他	7,226	20.7	3,907	44.3
合計	34,860	100.0	8,814	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	前第1四半期連結会計期間末 平成20年6月30日		当第1四半期連結会計期間末 平成21年6月30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	47,747	86.5	20,152	81.1
放電加工機	4,053	7.3	1,895	7.6
フライス盤	340	0.6	104	0.4
その他	3,088	5.6	2,703	10.9
合計	55,229	100.0	24,856	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

区分	前第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	15,385	66.1	7,001	64.3
放電加工機	1,614	6.9	653	6.0
フライス盤	171	0.7	69	0.6
その他	6,116	26.3	3,171	29.1
合計	23,288	100.0	10,896	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。